

# 令和6年度 広島市平和記念式典児童派遣事業参加報告

## 【目次】

- ①被爆前の広島について
- ②原子爆弾投下直後の惨状
- ③放射能による人や物の影響について
- ④核兵器について
- ⑤現在の広島について
- ⑥佐々木禎子さんについて
- ⑦まとめ





## ①被爆前の広島について

②原子爆弾投下直後の惨状

③放射能による人や物の影響について

④核兵器について

⑤現在の広島について

⑥佐々木禎子さんについて

⑦まとめ



# 被爆前の広島について



被爆前の広島は、中国地方の中心地として人口が増え、どんどんにぎやかになりました。

今、平和記念公園となっている場所も、当時はたくさんの人が住み、映画館や旅館があるととてもにぎやかな町でした。

# 被爆前の原爆ドーム



被爆前の原爆ドームは、広島県物産陳列館という販売促進を図る拠点を目的として建てられたもの「お土産屋さんのようなもの」でした。

# 広島市と戦争の関係



広島はもともと日本の軍隊の重要な役目を持つ都市の一つでした。日本が清（現在の中国）と戦争を始めたころから市内には軍の建物が増えていきました。

また、広島湾の宇品港（背景画像）からたくさんの兵隊や必要なものが戦争に送り出されるなど、広島市は戦争と深い関係のある町でした。



①被爆前の広島について

②原子爆弾投下直後の惨状

③放射能による人や物の影響について

④核兵器について

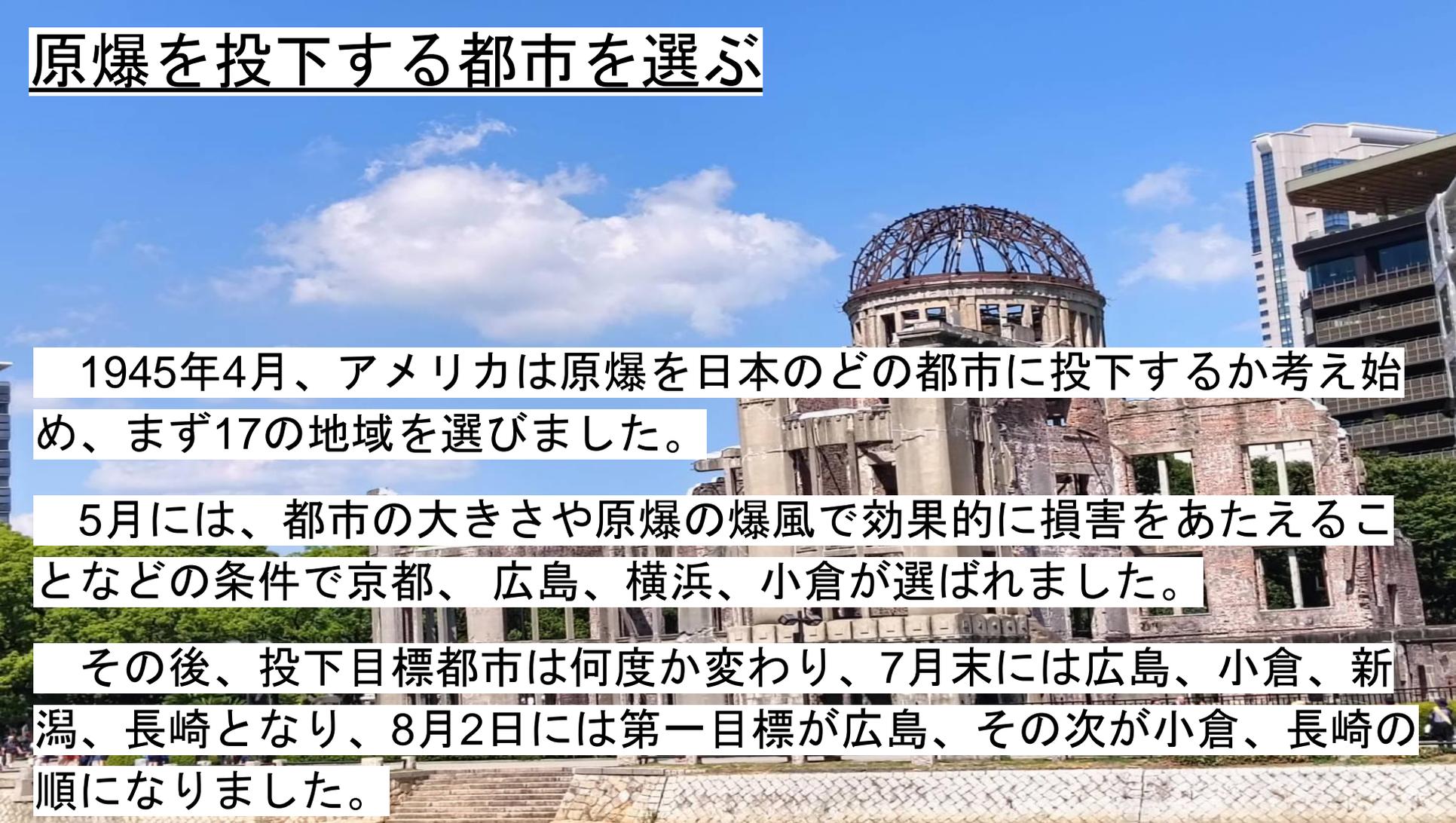
⑤現在の広島について

⑥佐々木禎子さんについて

⑦まとめ



# 原爆を投下する都市を選ぶ



1945年4月、アメリカは原爆を日本のどの都市に投下するか考え始め、まず17の地域を選びました。

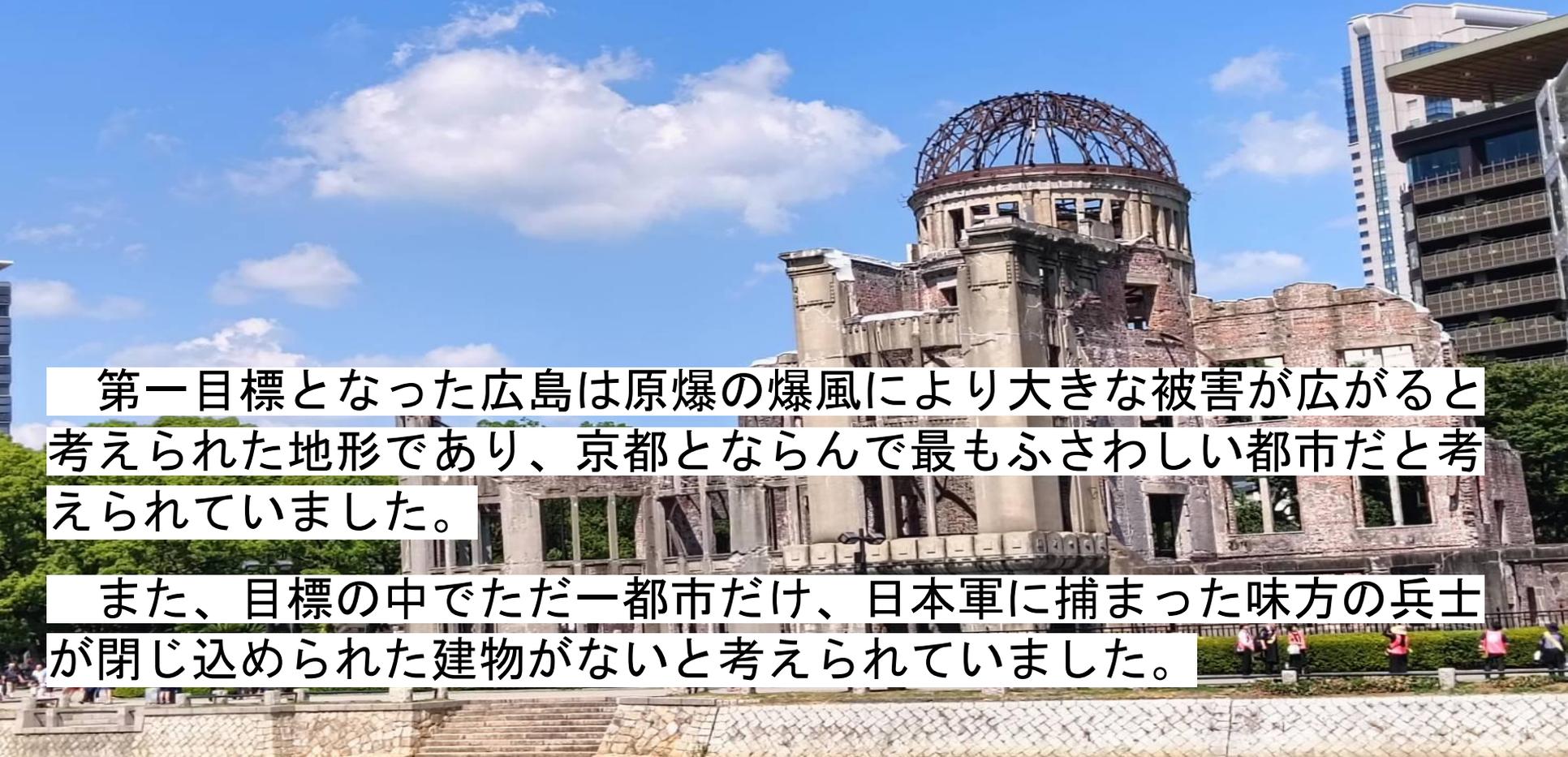
5月には、都市の大きさや原爆の爆風で効果的に損害をあたえることなどの条件で京都、広島、横浜、小倉が選ばれました。

その後、投下目標都市は何度か変わり、7月末には広島、小倉、新潟、長崎となり、8月2日には第一目標が広島、その次が小倉、長崎の順になりました。

# 原爆を投下する都市を選ぶ

第一目標となった広島は原爆の爆風により大きな被害が広がると考えられた地形であり、京都とならんで最もふさわしい都市だと考えられていました。

また、目標の中でただ一都市だけ、日本軍に捕まった味方の兵士が閉じ込められた建物がないと考えられていました。

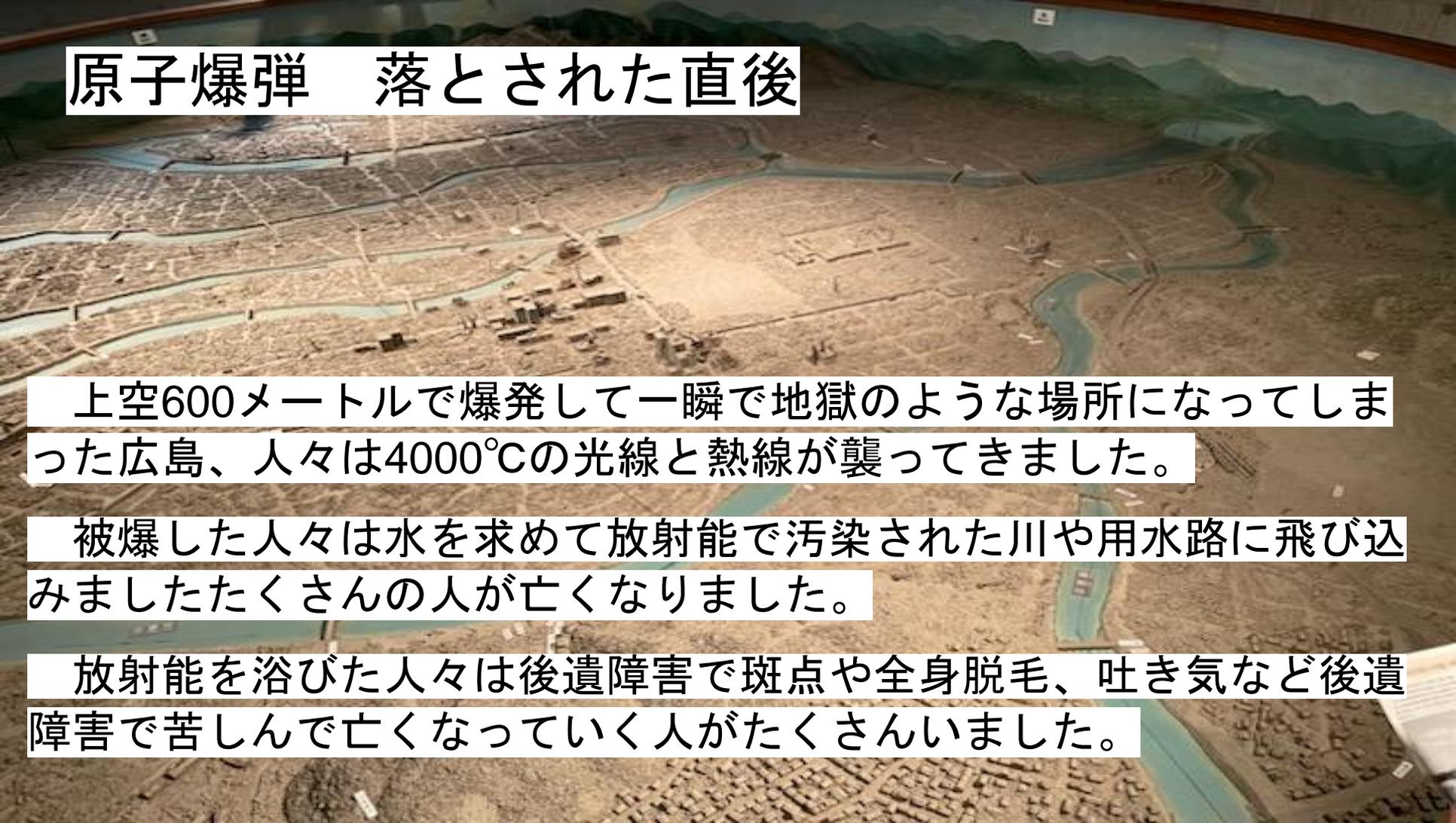


# 原爆を落とす目印になった場所

原爆を落とす標的になったところは、相生橋（あいおいばし）でした。相生橋は、上空からみるとT字型になっており、目立つ形だったため原爆投下の標的になったとされています。ですが、風の影響で、橋から約300メートル離れた病院の真上で、原爆は爆発しました。



## 原子爆弾 落とされた直後

An aerial photograph of Hiroshima, Japan, taken shortly after the atomic bombing on August 9, 1945. The city is almost completely flattened, with only a few skeletal remains of buildings and a grid of streets visible. A large river, the Arima River, winds through the landscape. The surrounding area is a mix of brown, charred earth and green hills in the distance.

上空600メートルで爆発して一瞬で地獄のような場所になってしまった広島、人々は4000°Cの光線と熱線が襲ってきました。

被爆した人々は水を求めて放射能で汚染された川や用水路に飛び込みましたたくさんの人が亡くなりました。

放射能を浴びた人々は後遺障害で斑点や全身脱毛、吐き気など後遺障害で苦しんで亡くなっていく人がたくさんいました。

# 被爆後の原爆ドーム

お土産屋さんのようなだった原爆ドームは屋根が無くなってしまい、部品なども曲がっていました。





①被爆前の広島について

②原子爆弾投下直後の惨状

**③放射能による人や物の影響について**

④核兵器について

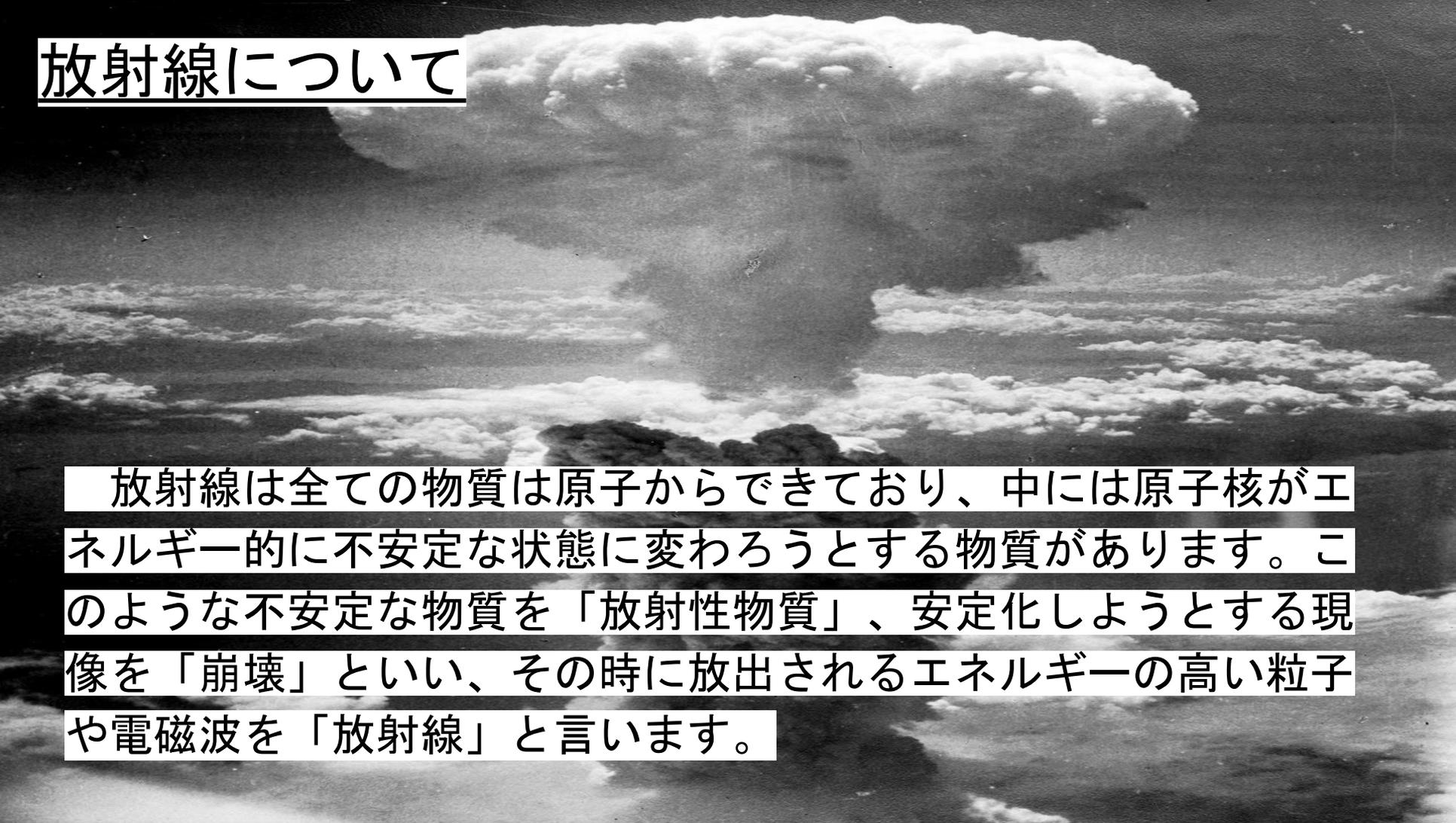
⑤現在の広島について

⑥佐々木禎子さんについて

⑦まとめ

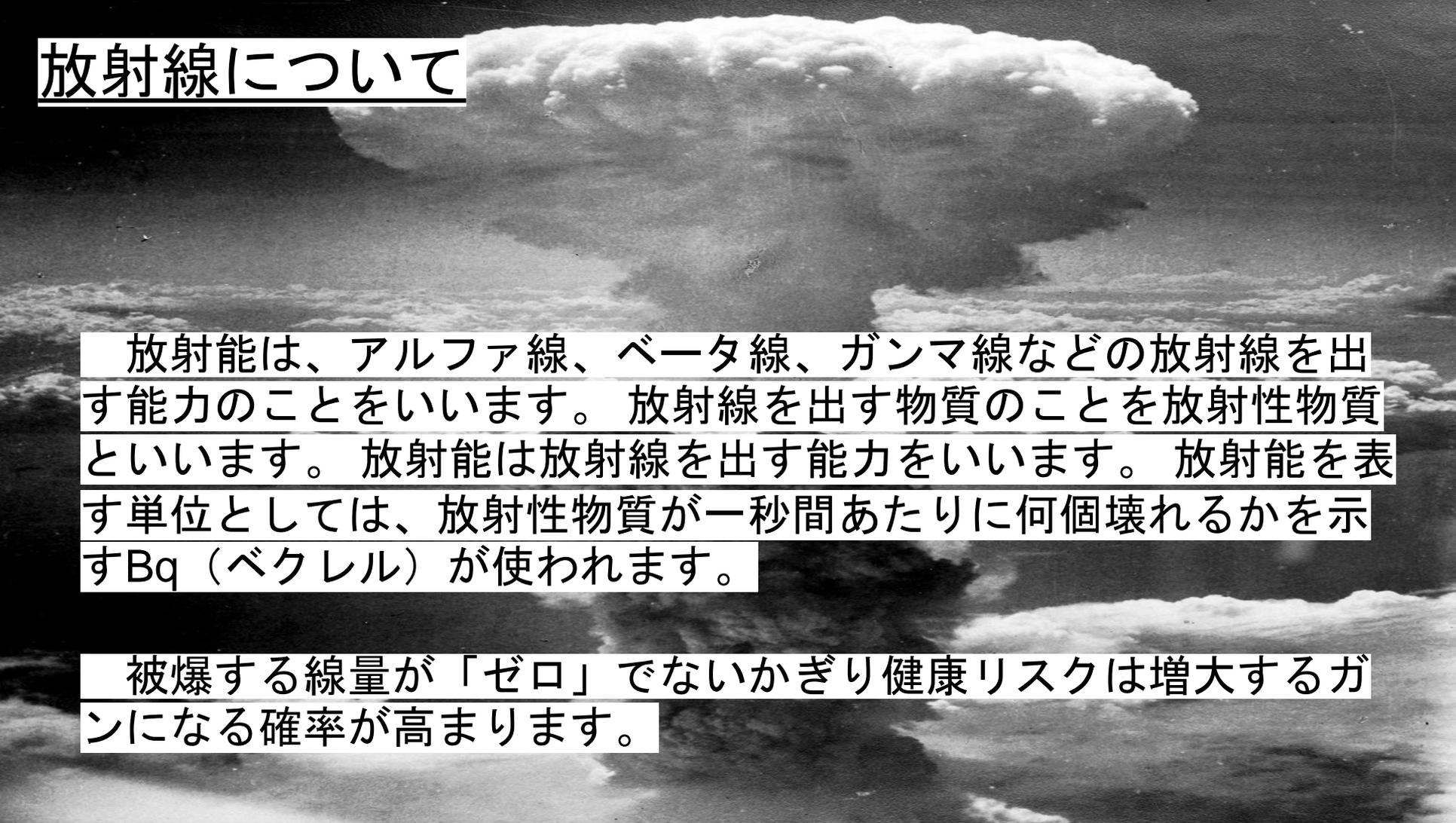


# 放射線について

A black and white photograph of a nuclear explosion's mushroom cloud. The cloud is massive and billowing, with a dark, dense stem rising from the ground and a large, white, puffy cap at the top. The background shows a dark sky with some lighter clouds.

放射線は全ての物質は原子からできており、中には原子核がエネルギー的に不安定な状態に変わろうとする物質があります。このような不安定な物質を「放射性物質」、安定化しようとする現象を「崩壊」といい、その時に放出されるエネルギーの高い粒子や電磁波を「放射線」と言います。

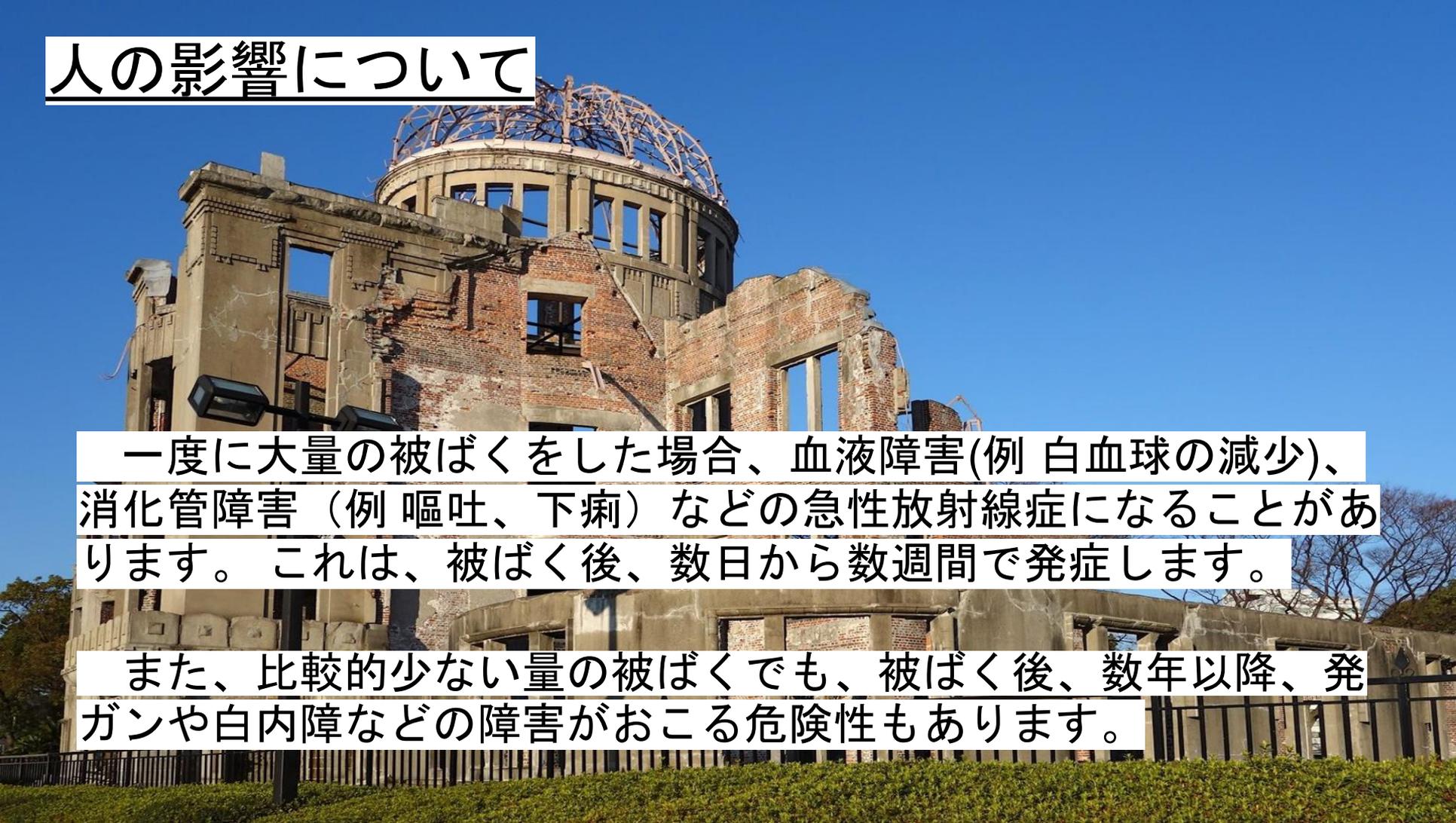
# 放射線について



放射能は、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などの放射線を出す能力のことをいいます。放射線を出す物質のことを放射性物質といえます。放射能は放射線を出す能力をいいます。放射能を表す単位としては、放射性物質が一秒間あたりに何個壊れるかを示すBq（ベクレル）が使われます。

被爆する線量が「ゼロ」でないかぎり健康リスクは増大するガンになる確率が高まります。

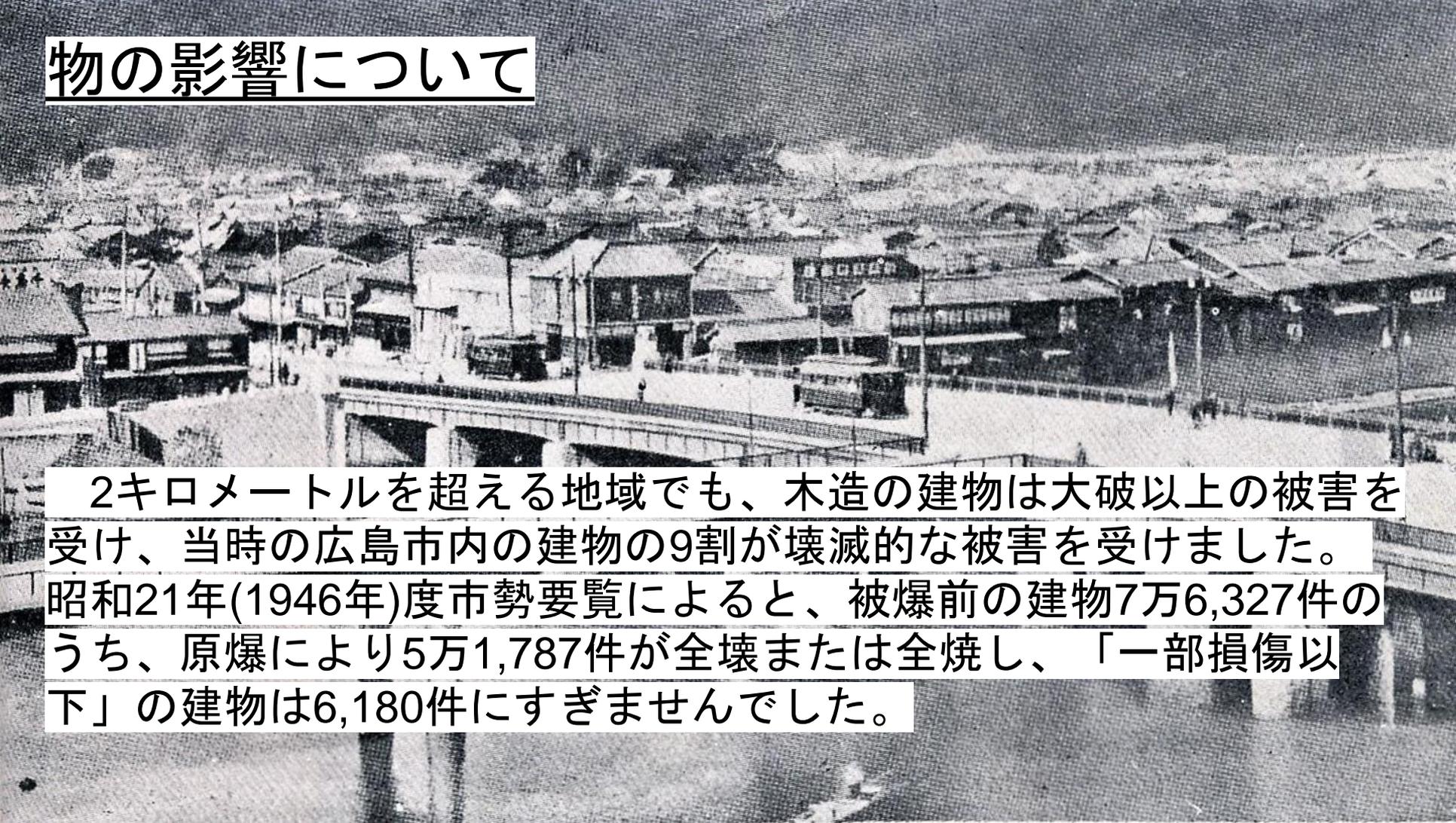
# 人の影響について



一度に大量の被ばくをした場合、血液障害(例 白血球の減少)、消化管障害(例 嘔吐、下痢)などの急性放射線症になることがあります。これは、被ばく後、数日から数週間で発症します。

また、比較的少ない量の被ばくでも、被ばく後、数年以降、発ガンや白内障などの障害がおこる危険性もあります。

## 物の影響について



2キロメートルを超える地域でも、木造の建物は大破以上の被害を受け、当時の広島市内の建物の9割が壊滅的な被害を受けました。昭和21年(1946年)度市勢要覧によると、被爆前の建物7万6,327件のうち、原爆により5万1,787件が全壊または全焼し、「一部損傷以下」の建物は6,180件にすぎませんでした。



- ①被爆前の広島について
- ②原子爆弾投下直後の惨状
- ③放射能による人や物の影響について
- ④核兵器について**
- ⑤現在の広島について
- ⑥佐々木禎子さんについて
- ⑦まとめ



# 核兵器の原理

ウランやプルトニウムといった元素に中性子という原子核を作っています。更に小さな粒子を衝突されると原子核が2つに分かれ、連続して核分裂が起こることによってエネルギーが放射されます。これが原子爆弾というものです。

・ 広島に落とされた原子爆弾・リトルボーイ

・ 長崎に落とされた原子爆弾・ファットマン



# 核兵器について・核兵器の必要性



核兵器は放射エネルギーを利用した核分裂を使って、破壊・殺傷などに用いられる爆弾の一種です。

現在、世界には核兵器が約1万2千発あります。そして核兵器を保有している国は9カ国ほどあります。

なぜ核兵器が必要なのでしょう？

保有する一つの理由としては、「自分の国を攻撃したら、核を落とす」という自国を守るための威嚇のようなことをすることです。

# 核兵器をなくすための取り組み



平和首長会議というものがあり、広島市と長崎市が中心で作った団体で、世界中の街が参加し、核兵器をなくすための、運動などを行っています。

そして私達のような子供でも、原子爆弾を知り、近くの人に自分が体験したこと、学んだことを伝え合い、次世代に核兵器をなくすための考えをつなぐことができます。



- ①被爆前の広島について
- ②原子爆弾投下直後の惨状
- ③放射能による人や物の影響について
- ④核兵器について
- ⑤現在の広島について**
- ⑥佐々木禎子さんについて
- ⑦まとめ



# 原爆ドーム

もともと広島県立商品陳列所として多くの方が賑わっていましたが、原爆によって原型を留めないほどに壊れてしまいました。それでも平和を求める誓いのシンボルとして原爆ドームには多くの方が訪れています。

原爆ドームは、思っていたよりも大きく壊れていて特徴的なドーム状の部分がとても印象に残りました。

周りの建物と見比べると、原爆ドームだけ原爆が投下された時のままのように感じました。



## 旧中島本通り

木々が植えてある旧中島本通りは、一般的な道に見えますが、原爆投下前の名残がいくつもあるそうです。

原爆ドームと比べて原爆投下の様子を感じ取れるものが無く、歩いていても他の道や自分の街の道などとあまり違いを感じませんでした。



# 元安橋

元安橋は被爆前の橋と変わらないデザインで今もあります。なぜならかけ替えられたときに古い橋のデザインを元に復元されたからです。

原爆が投下されたときの名残が広島にはいくつもあるけれど、元安橋からは当時の悲惨さは感じられず、歩いていて平和を感じました。





- ①被爆前の広島について
- ②原子爆弾投下直後の惨状
- ③放射能による人や物の影響について
- ④核兵器について
- ⑤現在の広島について
- ⑥佐々木禎子さんについて**
- ⑦まとめ



# 原爆の子の像

原爆の子の像は、2歳のときに被爆した佐々木禎子さんが10年後白血病でなくなったことをきっかけに、同級生たちが「原爆でなくなったすべての子どもたちのために慰霊碑を作ろう」と呼びかけたことで全国の3200あまりの学校などの寄付により完成したものです。



## 禎子さんと折り鶴

禎子さんは白血病と診断され病院に入院しているとき、「鶴を千羽折ると願いが叶う」という言い伝えを信じて1300羽以上の折り鶴を病床で折り続けたそうです。





- ①被爆前の広島について
- ②原子爆弾投下直後の惨状
- ③放射能による人や物の影響について
- ④核兵器について
- ⑤現在の広島について
- ⑥佐々木禎子さんについて
- ⑦まとめ**



# 原爆ドーム

原子爆弾とは人類史上初めて使用された核兵器です。原爆ドームの南東約160mでさく裂し、爆心地100メートル地点での爆風は秒速約280メートルにもなり、放出されたエネルギーは、TNT火薬16キロトンに相当したそうです。TNT火薬とは、1キロで旅客機を墜落させることが可能な威力だそうです。

原爆ドームを見学し、熱線や放射線により金属が飛び出し変形してしまった骨組みや、焦げている跡、崩れてしまっている部分などを見て原爆の威力の凄まじさを感じました。

# 広島平和記念資料館

ヒロシマを知ること  
は未来を考えること

平和資料館にはたくさんの方々が訪れていました。その中に外国の方もいて、日本の原爆のことを知ろうとしてくれているということを楽しんでいました。

実際に写真や遺品などを見てみると、当時の広島被害の酷さや、治療を受けられず苦しみながら亡くなっていったという人がいることを知り、とても心苦しく、繰り返してはいけないものだと思いました。

# 平和記念式典

朝早くから広島平和都市記念碑には、多くの人々が訪れ、平和を願っていました。

式典の平和宣言で「違いを良さと捉え、自分の考えを見直すこと」という言葉がありました。すべての人の考えを認め合えば平和を守れるというメッセージが伝わってきました。

式典会場では、原爆が投下された8時15分には平和の鐘やサイレンが鳴り、原爆死没者に「安らかに眠ってください」という気持ちを込め、1分間の黙とうを行いました。爆弾の恐怖におびえることのない世界に感謝しました。

平和を願うだけでは実現せず自分たちで作っていくもの。

私達にできることは？

- 平和記念公園や平和資料館で学んだことを家族や友達に伝え、一緒に考える。
- 日本や他国の戦争の歴史を学び、平和のためにできることを考える。

# 心に残ったこと

私が一番思い出に残ったことは平和記念資料館です。被爆した人の写真や体験談、原爆が投下された後の広島の様子を見て、原爆は私が想像していたよりもたくさんの方が犠牲になったということを知りました。また、今も後遺症に苦しめられている人がいるという事に衝撃を受けました。

鶴ヶ島第一小学校児童代表 水原 紬

私が一番思い出に残ったことは、平和記念公園です。平和記念公園にはたくさんの緑がありました。広島には「75年は草木も生えぬ」と言われていました。けれど、私が見た今の広島は、とてもきれいで自然豊かでした。ですが、79年前に原爆が落とされ、多くの方が亡くなったことは忘れてはいけません。子供代表の加藤さんと石丸さんの言う通り、平和とつくっていくのは私達です。79年前に広島であったことを忘れずに過ごしていきたいです。

鶴ヶ島第二小学校児童代表 秋山 咲楽

# 心に残ったこと

僕が広島に行って思ったことは、平和記念式典です。僕は毎年この場所で平和記念式典が開かれていることを知らなくて、今年初めて平和の尊さと命の重みについて知りました。黙祷のときには、黙って目をとじて祈る儀式があって、それが一番印象に残りました。

新町小学校児童代表 平野 琉人

僕が広島に行って印象に残ったことは広島平和記念式典に出て黙祷の時間が一番印象に残りました。黙祷のときに命の尊さや平和に生きられるのが幸せだなと思いました。

杉下小学校児童代表 池田 竜大

# 心に残ったこと

戦争は想像以上に悲惨で残酷なことでした。戦争をしても誰も幸せにはなりません。何の罪もない人々がもがき苦しみ亡くなり、物のない不自由な生活を強いられてしまいました。その人々にも一人ひとり大切に思う家族がいること。今後は絶対にしてはいけないし、この過ちを決して忘れてはいけないと思いました。

長久保小学校児童代表 新井 結奈

今でも原爆投下前の様子を残そうという動きがあり、原爆ドームや説明板など当時の様子を感じさせるものが沢山ありました。これから先も広島への思いを伝えていこうという気持ちを感じ取れました。一方で旧中島本通りなど普通に歩いているだけでは被爆時の様子は感じられないところも多くなっており、広島が復興したんだなという思いも同時に感じました。

栄小学校児童代表 寒川 春希

# 心に残ったこと

広島に行って一番思い出に残ったことは平和記念式典です。岸田総理、広島市市長、子ども代表、他国の代表の方の世界中に平和への思いが伝わればいいなという気持ちが集まって、ものすごく印象が強く、心に残っています。そして黙祷のときはセミの鳴き声や風のせせらぎがよく聞こえるほど静かで私も含めた皆さんの思いが一つになった感じがしました。

藤小学校児童代表 金浦 琴音

私は平和記念式典に参加して、子供代表の言葉が心に残りました。特に、「願うだけでは平和は訪れません。色鮮やかな日常を守り、平和を作っていくのは、私達です。」という言葉が印象的で、どうやったら平和が訪れるのか考えさせられました。79年前に起こった悲惨を忘れずに生活していきたいです。

南小学校児童代表 上原 知紗



ご清聴ありがとうございました。

令和6年度  
広島市平和記念式典児  
童派遣事業参加者一同